

●電験三種 入江講師より(梅田校／演習コース収録担当)

みなさん、こんにちは。TAC 電験講座講師の入江です。

今回は、演習コース（又は単科生）の方向けに、これからの学習方針や講義の復習方法についてお話ししたいと思います。

まず、これから本試験まで、どのように学習をするかについてですが、基本的にどの科目も合格への近道は無く、地道に「原理を理解し、使いこなす」だけです。

また、出題問題がどんなに難しい年であっても、攻略法は出題された全問題の中にある基本問題をミス無く確実に解き、60 点分確実に得点することが重要です。

受験後よくある質問として、「これからは難問が解けるようにならないといけないですか？」と聞かれますが、難問というものは対策しようと思って出来るものではなく、どのような難問でも 5 点の価値しかありませんので、学習期間・試験時間の観点からも非効率です。

したがって、これからの学習方針としては、「得点すべき問題を、計算ミス・勘違い・思い込みなど無く確実に得点できる実力を身に付ける」ということになります。

これを行うには、内容の理解(インプット)と問題演習(アウトプット)がともに十分出来ている必要がありますので、まず、演習コースのテーマ別講義にて、合格に必須となる内容の確認とそれに関する問題演習を一通り実施し、これまでの学習の抜けを補填していただきたいと思います。

ここで、注意点ですが、演習で解けなかった問題は、「解けなかった → 解答解説を見よう」で終わらないでほしいと思います。本試験問題を解くためには、「自ら考え、正答へ導ける力」が必要です。

解答解説を見ればその場では解決はしますが、自分の力として身についたかは少々疑問なので、「解けなかった → 正答番号を確認 → その番号になる理由を考える → 解答解説を見よう」という流れで実施してほしいと思います。これにより、思い込みなどは補正され、単純なミスなどに気付きやすくなり、本試験の得点が安定します。また、自ら考えたことは頭に残りやすいので、あらゆる面で有利になります。

また、演習コースに付属している「問題チェック表」を是非ご利用ください。

問題チェック表は、「いつ、どの問題を実施し、解けたかどうか」を一目で把握できる表になっており、「モチベーション維持,ペースメーカー,得意・苦手分野の自覚」を目的としております。

演習コースの学習期間は最低で半年間ではありますが、受験後はモチベーション維持が難しくなりま

すので、数ヵ月後、停滞気味になりがちです。だらだらと学習するのも無理に学習するのも非効率的です
ので、計画的に学習できるように、また、誰しも解ける問題などは実施しやすいですが、解けない問題は
敬遠しがちなので、この表をうまく使い、定期的に一通りの内容に触れていただきたいと思います。

また、テーマ別講義を実施し、問題を解いた際、解けたか、正答番号確認後の見直しを経て解けたか、
解けなかったか、をメモ書きしてください。これにより、得意分野・苦手分野が浮き出てきますので、本
試験に近づいたら、苦手分野をしっかり学習していただければと思います。

なお、演習問題の実施は、どの問題も 2~3 回で十分です。よく、5 回以上繰り返し実施している方が
いらっしゃいますが、そこまでとなると、人間は問題を考えようではなく、この問題どう解くんだったっ
けと、思い出そうとしてしまい、本試験で使える力が養われなくなり、効果が薄くなります。

長くなりましたが、残り半年、効率的に実力を身に付けられるように、講義動画、問題チェック表など
を是非活用ください。また、質問メールなどでも、内容の質問以外に、学習方法などの相談も OK ですの
で、気軽にご利用ください。

電験三種合格まであともう少しです。最後まで、頑張りましょう！